

2014年5月16日

宇部マクセル・LG化学の塗布型セパレーターに関する特許ライセンス契約について

宇部興産株式会社
日立マクセル株式会社
宇部マクセル株式会社

宇部興産株式会社（社長：竹下道夫、以下「宇部興産」）と日立マクセル株式会社（社長：千歳喜弘、以下「マクセル」）のリチウムイオン電池用塗布型セパレーター合弁会社・宇部マクセル株式会社（社長：永田啓一、以下「宇部マクセル」）とLG化学（社長：朴鎮洙、以下「LG」）は、LGが保有する塗布型セパレーターに関する特許ライセンス契約を締結いたしました。

本契約により宇部マクセルは、リチウムイオン電池の主要部材であるセパレーターの基材をセラミックスで塗布する特許実施権を獲得します。

宇部マクセルは2011年2月、宇部興産とマクセルの出資により設立されました。ハイブリッド自動車や電気自動車用リチウムイオン電池、産業用リチウムイオン電池向けの高機能塗布型セパレーターの製造・販売を行っています。

今回、宇部マクセルが供与を受ける特許は、LGの「Safety Reinforced Separator(SRS®)」で、リチウムイオン電池の安全性の向上につながる重要なものです。セパレーターの基材をセラミックでコーティングすることにより、セパレーターの耐温度性能や機械強度を強化するものであり、リチウムイオン電池内部でのショート発生のリスクを大きく低減することができます。

今回のライセンス契約により、宇部マクセルは、高機能塗布型セパレーターのトップメーカーとして、技術力のさらなる向上をめざすとともに、リチウムイオン電池材料市場でのプレゼンス強化を図ります。

なお、両社のライセンス契約の内容詳細は非公表とさせていただきます。

【宇部マクセル株式会社の概要】

社名：宇部マクセル株式会社
所在地：京都府乙訓郡大山崎町小泉1番地
社長：永田啓一
事業内容：リチウムイオン電池用セパレーターの製造・販売
設立：2011年2月
資本金：1.5億円
出資比率：宇部興産 51%
日立マクセル 49%

以上